



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度
直轄災害復旧事業
不知火幹線水路復旧仮設工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
八代平野農業水利事業所

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

項目名	数量	単位	金額	備考
工事価格			45,240,000	
・工事原価			37,949,000	
純工事費			27,539,000	
・直接工事費			24,088,000	
・直接工事費(仮設工を除く)	1.000	式	15,116,000	
・直接工事費(仮設工)	1.000	式	8,972,000	
・間接工事費			13,861,000	
・共通仮設費			3,451,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費~営繕費等				
$25,347,000 \times ((9.360 \times 1.000) \times 1.100 \times 1.020 \times 1.000)$			2,661,000	
・運搬費	1.000	式	216,000	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	303,000	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			271,000	
・現場環境改善費(率計上)				
$25,347,000 \times (1.070)$			271,000	
・現場環境改善費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			10,410,000	
・現場管理費(率計上)				
$28,798,000 \times ((31.300 \times 1.000) \times 1.100 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			10,410,000	
・現場管理費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費(一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額(直工)	1.000	式	1,259,000	
・官貸額(事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額(直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$37,949,000 \times (19.190 \times 1.000 + 0.04)$			7,297,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費(直工・事業損失防止)			0	
支給品費(直工)			0	
処分費等(直接工事費の内数)			0	
処分費(準備費の内数)			0	
処分費(事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等(率対象外)			0	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
000001	*** B単 - 1号 *** 床掘		m3	1,985		歩A・単A
000002	*** B単 - 2号 *** 現場内小運搬		m3	705		歩A・単A
000003	*** B単 - 3号 *** 土砂運搬・処分費		m3	2,819		歩A・単A
000004	現場～残土処分場 *** B単 - 4号 *** 掘削補助機械搬入・搬出		回	44,650		歩A・単A
000005	*** B単 - 5号 *** 碎石基礎		m ³	1,479		歩A・単A
000006	RC-40 *** B単 - 6号 *** コンクリート基礎		m3	26,130		歩A・単A
000007	18N-8-25 (高炉B) *** B単 - 7号 *** 目地板		m ²	3,699		歩A・単A
000008	*** B単 - 8号 *** 型枠		m ²	8,734		歩A・単A
000009	*** B単 - 9号 *** 水抜き設置工		箇所	325		歩A・単A
000010	200 *** B単 - 10号 *** 仮返し水路工		m	106,542		歩A・単A
000011	RFフリーウム 22-E *** B単 - 11号 *** 仮返し水路工		枚	22,988		歩A・単A
000012	鋼矢板打設 *** B単 - 12号 *** 大型土のう撤去・設置		袋	2,375		歩A・単A
000013	*** B単 - 13号 *** 仮締切湧水処理工		箇所	612,329		歩A・単A
000014	*** B単 - 14号 *** 運搬費 (鋼矢板)		式	129,285		歩A・単A
000015	*** B単 - 15号 *** 運搬費 (RFフリーウム)		式	87,202		歩A・単A
000016	*** B単 - 16号 *** 交通誘導警備員		人	13,770		歩A・単A
000017	*** B単 - 17号 *** 官貸額		式	1,259,440		歩A・単A

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
*** B単 - 1号 ***						
000001	床掘		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,	1.000	m3	1,985	1,985	S単 17号
	合 計				1,985	
	単 価				1,985	
*** B単 - 2号 ***						
000002	現場内小運搬		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02046	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m	1.000	m3	705	705	S単 3号
	合 計				705	
	単 価				705	
*** B単 - 3号 ***						
000003	土砂運搬・処分費 現場～残土処分場		m3		1,000	歩A 当たり算出
S01010	機械土工(超ロングアーム バックホウ)	1.000	m3	565	565	S単 1号
S01035	ダンプトラック運搬(超ロングアーム バックホウ積込) 4.5km以下,無し,良好	1.000	m3	1,254	1,254	S単 2号
P96001	残土処分費	1.000	m3	1,000	1,000	
	合 計				2,819	
	単 価				2,819	
*** B単 - 4号 ***						
000004	掘削補助機械搬入・搬出		回		1,000	歩A 当たり算出
SA0107	SP 掘削補助機械搬入搬出 掘削補助機械搬入搬出,なし	1.000	回	44,650	44,650	S単 18号
	合 計				44,650	
	単 価				44,650	
*** B単 - 5号 ***						
000005	碎石基礎 RC-40		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0301	SP 基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下,計上する,なし,再生クラッシュラン RC-40 40~0mm	1.000	m ²	1,479	1,479	S単 19号
	合 計				1,479	
	単 価				1,479	
*** B単 - 6号 ***						
000006	コンクリート基礎 18N-8-25(高炉B)		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生, 延長無し,-,-,-,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1.000	m3	26,130	26,130	S単 20号
	合 計				26,130	
	単 価				26,130	
*** B単 - 7号 ***						
000007	目地板		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0331	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm	1.000	m ²	3,699	3,699	S単 22号
	合 計				3,699	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価				3,699	
	*** B単 - 8号 ***					
000008	型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物	1.000	m ²	8,734	8,734	S単 21号
	合 計				8,734	
	単 価				8,734	
	*** B単 - 9号 ***					
000009	水抜孔設置工 200		箇所		100.000	歩A 当たり算出
P05041	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管VU 径200 長4.0m	2.500	本	8,810	22,025	
P96002	砕石 水抜孔フィルター用 5~25mm	0.310	m ³	3,450	1,070	
P96003	フィルター材 ヤシ繊維系不織布 t=10mm	16.000	m ²	590	9,440	
	合 計				32,535	
	単 価				325	
	*** B単 - 10号 ***					
000010	仮返し水路工 RFフリーム 22-E		m		56.000	歩A 当たり算出
T00002	RFフリーム設置工	56.000	m	45,911	2,571,016	T単 1号
T00004	RFフリーム22-E(購入品) 材料費	56.000	m	60,170	3,369,520	T単 2号
P96004	フレーム RFフリーム22-E用	1.000	組	25,830	25,830	
	合 計				5,966,366	
	単 価				106,542	
	*** B単 - 11号 ***					
000011	仮返し水路工 鋼矢板打設		枚		50.000	歩A 当たり算出
S18181	油圧圧入工(鋼矢板) 普通鋼矢板, 型,9m以下,8.5,あり	50.000	枚	13,533	676,650	S単 14号
S17001	鋼矢板 鋼矢板,3型,無,60日,1回	25.500	ton	18,540	472,770	S単 7号
	合 計				1,149,420	
	単 価				22,988	
	*** B単 - 12号 ***					
000012	大型土のう撤去・設置		袋		1.000	歩A 当たり算出
S18002	大型土のう工 撤去,ハ'ㇿ約,0m3,耐候性大型土のう袋(1年対応),あり,なし	1.000	袋	780	780	S単 8号
S18002	大型土のう工 設置,ハ'ㇿ約,0m3,耐候性大型土のう袋(1年対応),あり,なし	1.000	袋	1,595	1,595	S単 9号
	合 計				2,375	
	単 価				2,375	
	*** B単 - 13号 ***					
000013	仮締切湧水処理工		箇所		1.000	歩A 当たり算出
S18005	排水ポンプ用釜場設置・撤去 釜場掘削・設置	1.000	箇所	7,588	7,588	S単 12号
S18003	仮締切湧水 53,作業時排水,0以上~40未満,発動発電機,あり	1.000	箇所	513,511	513,511	S単 10号
S18004	排水ポンプ設置撤去 1~5台,あり	1.000	箇所	82,285	82,285	S単 11号

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S18005	排水ポンプ用釜場設置・撤去 釜場埋戻・撤去	1.000	箇所	8,945	8,945	S単 13号
	合計				612,329	
	単価				612,329	
	*** B単 - 14号 ***					
000014	運搬費(鋼矢板)		式		1.000	式 歩A 当たり算出
S19003	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,20kmまで,片道計上,計上する(敷鉄板以外),積 込・取卸,0.0,0.0	25.500	ton	5,070	129,285	S単 15号
	合計				129,285	
	単価				129,285	
	*** B単 - 15号 ***					
000015	運搬費(RFフリーム)		式		1.000	式 歩A 当たり算出
S19003	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,片道計上,計上する(敷鉄板以外),積 込・取卸,0.0,0.0	17.760	ton	4,910	87,202	S単 16号
	合計				87,202	
	単価				87,202	
	*** B単 - 16号 ***					
000016	交通誘導警備員		人		1.000	人 歩A 当たり算出
S02115	交通誘導警備員B	1.000	人	13,770	13,770	S単 6号
	合計				13,770	
	単価				13,770	
	*** B単 - 17号 ***					
000017	官貸額		式		1.000	式 歩A 当たり算出
P96007	RFフリーム本体(官貸品) 縦波型22-E B2306×H1818 損耗率45%	56.000	m	22,490	1,259,440	
	合計				1,259,440	
	単価				1,259,440	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S01010	*** S単 - 1号 *** 機械土工(超ロングアールハックの掘削) 機械土工(超ロングアールハックの掘削) ハック		m3	565		歩A・単A
S01035	*** S単 - 2号 *** ダンプトラック運搬(超ロングアールハックの積込) ダンプトラック運搬(超ロングアールハックの積込) 4.5km以下,無し,良好		m3	1,254		歩A・単A
S02046	*** S単 - 3号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン) 機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m		m3	705		歩A・単A
S02115	*** S単 - 4号 *** 土木一般世話役 土木一般世話役		人	28,968		歩A・単A
S02115	*** S単 - 5号 *** 普通作業員 普通作業員		人	20,706		歩A・単A
S02115	*** S単 - 6号 *** 交通誘導警備員B 交通誘導警備員B		人	13,770		歩A・単A
S17001	*** S単 - 7号 *** 鋼矢板 鋼矢板 鋼矢板,3型,無,60日,1回		ton	18,540		歩A・単A
S18002	*** S単 - 8号 *** 大型土のう工 大型土のう工 撤去,ハック,0m3,耐候性大型土のう袋(1年対応),あり,なし		袋	780		歩A・単A
S18002	*** S単 - 9号 *** 大型土のう工 大型土のう工 設置,ハック,0m3,耐候性大型土のう袋(1年対応),あり,なし		袋	1,595		歩A・単A
S18003	*** S単 - 10号 *** 仮締切湧水 排水ポンプ運転 53,作業時排水,0以上~40未満,発動発電機,あり		箇所	513,511		歩A・単A
S18004	*** S単 - 11号 *** 排水ポンプ設置撤去 排水ポンプ設置撤去 1~5台,あり		箇所	82,285		歩A・単A
S18005	*** S単 - 12号 *** 排水ポンプ用釜場設置・撤去 排水ポンプ用釜場設置・撤去 釜場掘削・設置		箇所	7,588		歩A・単A
S18005	*** S単 - 13号 *** 排水ポンプ用釜場設置・撤去 排水ポンプ用釜場設置・撤去 釜場埋戻・撤去		箇所	8,945		歩A・単A
S18181	*** S単 - 14号 *** 油圧圧入工(鋼矢板) 油圧圧入工(鋼矢板) 普通鋼矢板,型,9m以下,8.5,あり		枚	13,533		歩A・単A
S19003	*** S単 - 15号 *** 輸送費(仮設材) 輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,20kmまで,片道計上,計上する(敷鉄板以外),積込・取卸,0.0.0.0		ton	5,070		歩A・単A
S19003	*** S単 - 16号 *** 輸送費(仮設材) 輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,片道計上,計上する(敷鉄板以外),積込・取卸,0.0.0.0		ton	4,910		歩A・単A
SA0103	*** S単 - 17号 *** SP 床掘り SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -,		m3	1,985		歩A・単A
SA0107	*** S単 - 18号 *** SP 掘削補助機械搬入搬出 SP 掘削補助機械搬入搬出 掘削補助機械搬入搬出,なし		回	44,650		歩A・単A
SA0301	*** S単 - 19号 *** SP 基礎碎石 SP 基礎碎石 17.5cmを超え20.0cm以下,計上する,なし,再生クラッシュラン RC-40 40~0mm		m ²	1,479		歩A・単A
SA0311	*** S単 - 20号 *** SP コンクリート SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリート車打設,計上する,10m3以上100m3未満,一般養生,延長無し, -, -, -, 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%		m3	26,130		歩A・単A

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S01010	機械土工(超ロングアームバック掘削)		m3		1,000	日 歩A 当たり算出
	機械土工(超ロングアームバック掘削)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械区分	バック		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
M02051	バック[加型・超ロングアーム・排対型(1次)]	1.480	供用日	19,200	28,416	
P34029	軽油	86.000	L	144	12,384	
R01021	運転手(特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合計				65,586	算出数量 116.000 m3
	単価		m3		565	
*** S単 - 2号 ***						
S01035	ダンプトラック運搬(超ロングアームバック積込)		m3		100.000	m3 歩A 当たり算出
	ダンプトラック運搬(超ロングアームバック積込)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)運搬距離	4.5km以下		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	2)DID通行区分	無し				
	3)路面条件	良好				
M03005	ダンプトラック[ワロード・ディーゼル]	2.750	供用日	20,100	55,275	
	10t積級					
W14065	タイヤ消費費(DT国産・普通・D)	2.750	供用日	747	2,054	
	積載重量 10.0t積					
P34029	軽油	128.000	L	144	18,432	
R01022	運転手(一般)	2.200	人	22,542	49,592	
	合計				125,353	算出数量 100.000 m3
	単価		m3		1,254	
*** S単 - 3号 ***						
S02046	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000	日 歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	砂・砂利・栗石,30~50m			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)材料	砂・砂利・栗石				
	2)運搬距離区分	30~50m				
M27964	不整地運搬車[加型・油圧ダンプ式]	1.570	供用日	10,200	16,014	
	加型油圧ダンプ 4.0ton					
P34029	軽油	65.000	L	144	9,360	
R01021	運転手(特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	(不整地運搬車運転)					
	合計				50,160	算出数量 71.100 m3
	単価		m3		705	
*** S単 - 4号 ***						
S02115	土木一般世話役		人		1.000	人 歩A 当たり算出
	土木一般世話役			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード	R01001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	2)労務単価算定区分	基(B)				
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
	合計				28,968	算出数量 1.000 人
	単価				28,968	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 5号 ***						
S02115	普通作業員 普通作業員		人		1,000	歩A 当たり算出
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員	1.000	人	20,706	20,706	
	合計				20,706	算出数量 1.000 人
	単価				20,706	
*** S単 - 6号 ***						
S02115	交通誘導警備員B 交通誘導警備員B		人		1,000	歩A 当たり算出
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01032 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01032	交通誘導警備員B	1.000	人	13,770	13,770	
	合計				13,770	算出数量 1.000 人
	単価				13,770	
*** S単 - 7号 ***						
S17001	鋼矢板		ton		1,000	歩A 当たり算出
	鋼矢板 鋼矢板,3型,無,60日,1回 1)仮設材区分 2)規格区分 3)補助工法 4)供用日数 5)使用回数	鋼矢板 3型 無 60日 1回		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
G01002	鋼矢板 3型 [賃料]	1.000	t 供用日	5,400	5,400	
G15002	鋼矢板 3型[整備費]	1.000	ton	13,140	13,140	
	合計				18,540	算出数量 1.000 ton
	単価		ton		18,540	
*** S単 - 8号 ***						
S18002	大型土のう工 大型土のう工 撤去,ﾊﾞｯｸﾙ,0.0m3,耐候性大型土のう袋(1年対応),あり,なし		袋		1,000	歩A 当たり算出
	1)施工区分 2)施工機械区分 4)購入土材単価(m3当たり) 5)購入土材数量(m3/袋) 6)大型土のう袋区分 7)単価0円区分(大型土のう袋) 8)長期割引単価区分(賃料機械)	撤去 ﾊﾞｯｸﾙ 0.000 0.000m3 耐候性大型土のう袋(1年対応) あり なし		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
F08063	ﾊﾞｯｸﾙ[ｸﾗｰ型・ｸﾚﾝ・超低・排対型(～2014)] 標準ﾊﾞｯｸﾙ容量 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	1.260	日	18,100	22,806	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾘｰ給油	78.000	L	144	11,232	
R01021	運転手(特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合計				112,374	算出数量 144.000 袋
	単価		袋		780	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 9号 ***					
S18002	大型土のう工 大型土のう工 設置バ ック約 0.0m3, 耐候性大型土のう袋 (1年対応) , あり, なし		袋		1,000 日	歩A 当たり算出
	1) 施工区分 2) 施工機械区分 4) 購入土材単価 (m3 当たり) 5) 購入土材数量 (m3 / 袋) 6) 大型土のう袋区分 7) 単価 0 円区分 (大型土のう袋) 8) 長期割引単価区分 (賃料機械)	設置 バ ック約 0.000 0.000m3 耐候性大型土のう袋 (1年対応) あり なし		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	28,968	28,968	
R01002	特殊作業員	1.000	人	24,582	24,582	
R01003	普通作業員	1.000	人	20,706	20,706	
F08063	バ ック約 [加-ラ型・クレーン・超低・排対型 (~ 2014)] 標準バ ック約容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.360	日	18,100	24,616	
P34029	軽油 バ トル給油	94.000	L	144	13,536	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	24,786	24,786	
	合計				137,194	算出数量 86.000 袋
	単 価		袋		1,595	
	*** S単 - 10号 ***					
S18003	仮締切湧水 排水ポンプ運転 53. 作業時排水, 0以上 ~ 40未満, 発動発電機, あり		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1) 運転日数 2) 排水方法 3) 排水量 (m3 / h) 4) 動力区分 5) 長期割引単価区分 (賃料機械)	53 作業時排水 0以上 ~ 40未満 発動発電機 あり		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
F05041	工事中水中ポンプ (潜水ポンプ) 口径150mm	63.600	日	411	26,140	
F02055	発動発電機 [D 駆動・超低・排対型 (~ 3次)] 25kVA	63.600	日	1,920	122,112	
P34029	軽油 バ トル給油	1,166.000	L	144	167,904	
R01002	特殊作業員	7.420	人	24,582	182,398	
Y00004	諸雑費	0.030		498,554	14,957	
	合計				513,511	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		513,511	
	*** S単 - 11号 ***					
S18004	排水ポンプ設置撤去 排水ポンプ設置撤去 1 ~ 5 台, あり		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1) ポンプ台数区分 2) 長期割引単価区分 (賃料機械)	1 ~ 5 台 あり		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
F08063	バ ック約 [加-ラ型・クレーン・超低・排対型 (~ 2014)] 標準バ ック約容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	0.580	日	11,700	6,786	
R01001	土木一般世話役	0.500	人	28,968	14,484	
R01002	特殊作業員	0.100	人	24,582	2,458	
R01003	普通作業員	2.000	人	20,706	41,412	
P34029	軽油 バ トル給油	33.000	L	144	4,752	
R01021	運転手 (特殊)	0.500	人	24,786	12,393	
	合計				82,285	算出数量 1.000 箇所

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		箇所		82,285	
	*** S単 - 12号 ***					
S18005	排水ポンプ用釜場設置・撤去		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ用釜場設置・撤去 釜場掘削・設置			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	釜場掘削・設置		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	0.040	人	28,968	1,159	
R01003	普通作業員	0.100	人	20,706	2,071	
Y00004	諸雑費	0.130		3,230	420	
M02031	ﾊﾞｯｸﾙ[ｸﾚｰ型・排対型(1次)] 標準ﾊﾞｯｸﾙ容量 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.570	時間	1,700	969	
R01021	運転手(特殊)	0.100	人	24,786	2,479	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	3.400	L	144	490	
	合 計				7,588	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		7,588	
	*** S単 - 13号 ***					
S18005	排水ポンプ用釜場設置・撤去		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ用釜場設置・撤去 釜場埋戻・撤去			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	釜場埋戻・撤去		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	0.040	人	28,968	1,159	
R01002	特殊作業員	0.050	人	24,582	1,229	
R01003	普通作業員	0.190	人	20,706	3,934	
Y00004	諸雑費	0.030		6,322	190	
M02031	ﾊﾞｯｸﾙ[ｸﾚｰ型・排対型(1次)] 標準ﾊﾞｯｸﾙ容量 山積0.28m3(平積0.2m3)	0.370	時間	1,700	629	
R01021	運転手(特殊)	0.060	人	24,786	1,487	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	2.200	L	144	317	
	合 計				8,945	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		8,945	
	*** S単 - 14号 ***					
S18181	油圧圧入工(鋼矢板)		枚		10,000 枚	歩A 当たり算出
	油圧圧入工(鋼矢板) 普通鋼矢板, 型,9m以下,8.5,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鋼矢板区分 2)鋼矢板規格	普通鋼矢板 型		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)圧入長(m) 4)鋼矢板の長さ(m/枚) 5)単価0円区分(鋼矢板)	9m以下 8.5 あり		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P18004	鋼矢板 型	5.100	ton	0	0	
R01001	土木一般世話役	0.360	人	28,968	10,428	
R01002	特殊作業員	0.360	人	24,582	8,850	
R01012	とび工	0.710	人	27,030	19,191	
M05435	油圧式杭圧入引抜機[ﾍﾞﾝﾁﾞﾝ式ﾍﾞｯﾄ・排対型(2014)] 圧入力800kN 引抜力900kN	0.520	供用日	109,000	56,680	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	47.000	L	144	6,768	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
M04610	ワル-ソル-ソ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・排対型(3次)] 25t吊	0.520	供用日	35,100	18,252	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	34.000	L	144	4,896	
R01021	運転手(特殊)	0.360	人	24,786	8,923	
Y00004	諸雑費	0.010		133,988	1,340	
	合計				135,328	算出数量 10.000 枚
	単価		枚		13,533	
	*** S単 - 15号 ***					
S19003	輸送費(仮設材)		ton		1,000 ton	歩A 当たり算出
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,20kmまで,片道計上,計上する(敷鉄板以外),積込・取卸,0.0,0.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)使用単価区分 2)運賃料金(円/ton)	基本運賃(自動入力) 0円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)製品長 4)運搬距離(片道)	12m以内 20kmまで				
	5)計上方法 6)積卸し計上区分	片道計上 計上する(敷鉄板以外)				
	8)積卸し区分(敷鉄板以外)	積込・取卸				
	9)冬期割増率(実数)	0.0				
	10)深夜早朝割増率(実数)	0.0				
P46602	仮設材輸送運賃料金 20km以下 製品長12m以内	1.000	ton	3,570	3,570	
P46402	積卸し費 積込み・取卸し	1.000	ton	1,500	1,500	
	合計				5,070	算出数量 1.000 ton
	単価		ton		5,070	
	*** S単 - 16号 ***					
S19003	輸送費(仮設材)		ton		1,000 ton	歩A 当たり算出
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,片道計上,計上する(敷鉄板以外),積込・取卸,0.0,0.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)使用単価区分 2)運賃料金(円/ton)	基本運賃(自動入力) 0円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)製品長 4)運搬距離(片道)	12m以内 10kmまで				
	5)計上方法 6)積卸し計上区分	片道計上 計上する(敷鉄板以外)				
	8)積卸し区分(敷鉄板以外)	積込・取卸				
	9)冬期割増率(実数)	0.0				
	10)深夜早朝割増率(実数)	0.0				
P46601	仮設材輸送運賃料金 10km以下 製品長12m以内	1.000	ton	3,410	3,410	
P46402	積卸し費 積込み・取卸し	1.000	ton	1,500	1,500	
	合計				4,910	算出数量 1.000 ton
	単価		ton		4,910	
	*** S単 - 17号 ***					
SA0103	SP 床掘り SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-, -,		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	- -				
	単価		m3		1,985	

事業名	直轄災害復旧事業
工事名	不知火幹線水路復旧仮設工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 18号 ***					
SA0107	SP 掘削補助機械搬入搬出		回		1,000	歩A 当たり算出
	SP 掘削補助機械搬入搬出 掘削補助機械搬入搬出,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)作業区分 2)長期割引単価区分	掘削補助機械搬入搬出 なし				
	単 価		回		44,650	
	*** S単 - 19号 ***					
SA0301	SP 基礎砕石		m ²		1,000	歩A 当たり算出
	SP 基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下,計上する,なし,再生クラッシャーラン RC-4 0 40~0mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)砕石の厚さ 2)砕石の計上 3)長期割引単価区分 4)規格区分	17.5cmを超え20.0cm以下 計上する なし 再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm				
	単 価		m ²		1,479	
	*** S単 - 20号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m ³		1,000	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,コンクリートポンプ車打設,計上する,10m3以上100m3未満 ,一般養生,延長無し,-,-,-,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設置 5)養生工の種類 6)圧送管延長距離区分 7)現場内小運搬の有無 8)打設高さ、水平打設距離 10)規格区分	無筋・鉄筋構造物 コンクリートポンプ車打設 計上する 10m3以上100m3未満 一般養生 延長無し - - 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単 価		m ³		26,130	
	*** S単 - 21号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類 2)構造物の種類	一般型枠 鉄筋・無筋構造物				
	単 価		m ²		8,734	
	*** S単 - 22号 ***					
SA0331	SP 目地板		m ²		1,000	歩A 当たり算出
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(ゴム発泡体) t=10mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	

令和6年度 直轄災害復旧事業

不知火幹線水路復旧仮設工事

特 別 仕 様 書

九州農政局八代平野農業水利事業所

第1章 総則

令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、八代平野（熊本県）地区災害復旧事業計画書に基づき不知火幹線水路の復旧を行うものである。

2. 工事場所

熊本県八代市東片町地内

3. 工事概要

本工事は概要は次のとおりである。

施工延長 L=547.57m

施工始点 測点 No. 62+28.08

施工終点 測点 No. 73+25.65

内訳

仮廻し水路工 L=547.57m

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

なお、本工事は標準的な設計図書による発注であり、工事数量表の備考欄に「概」と表示した数量については、設計変更で処理する。

第3章 施工条件

1. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事は積算上の工期としている147日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和7年7月31日（工事完了期限日）まで

2. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

3. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等49日を見込んでいます。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日を含んでいる。

4. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、大型連休を施工しない日とする。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

大型連休：

令和7年5月3日～令和7年5月6日

5. 施工しない時間帯

原則、平日の午後5時～午前8時まで。

6. 現場技術員

本工事は、共通仕様書第1編1-1-9に規定している現場技術員を配置する。

氏名等については、別に通知する。

第4章 現場条件

1. 土質

本工事の施工場所の土質は、図面に示すものを想定している。

2. 関連工事等

本工事に関連する工事として、次に示すとおり予定しているので、監督職員及び関連する工事等の責任者と十分連絡、協議し工事工程に支障が生じないように調整しなければならない。

工 事 名	施工予定期間
令和6年度 直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧工事（仮称）	令和7年6月 ～令和8年3月

3. 第三者に対する措置

(1) 騒音、振動対策

1) 騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

2) 第三者との協議において対策を講じる必要がある場合は、本工事に騒音、振動調査を追加することがある。

(2) 保安対策

1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任者講習修了、指定講習又は、基本教育及び業務特別教育を受けた者）であって、交通誘導の専門的な知識・技能を有する者とする。

2) 交通誘導警備員の配置は、次表のとおりとするが、条件変更等に伴い員数及び配置場所等に増減が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無	備 考
八代市東片町興善寺 町線	2名/日	2名	昼間	無	水路復旧時等

3) 配置期間については、施工期間中とする。

(3) 交通対策

1) 工事場所にあっては、付近を通行する人、自転車及び自動車等に細心の注意を図り、事故等が発生しないよう交通安全対策を徹底するものとする。

2) 工事期間中における昼夜の安全対策については、交通制限の範囲、標識及び安全施設等の配置に関して、事前に監督職員の承諾を得るものとする。

- 3) 作業機械等を仮置場以外の安全な場所に仮置きする場合には、カラーコーン、バリケード、赤色灯等の設置を行い、事故防止に努めるものとする。
- 4) 施工区間については、底板コンクリート打設及び鋼矢板打設期間中について、通行止めを行う。
- (4) 営農対策
周辺の農地では耕作が行われているので、工事施工に当たっては、営農に支障がないように努めなければならない。
- (5) 防塵対策
防塵対策については十分配慮するとともに、地域住民との調和を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。
なお、現地状況等により対策が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 仮置場及び仮設ヤード

- (1) 資材等を仮置きする場合は、第6章 工事用地等に示す発注者が確保している工事用地を使用できるものとするが、設計に基づき工事施工に仮置場が別途必要となる場合については、必要箇所を検討するとともに、借地面積、期間等について監督職員と協議するものとする。
- (2) 使用に当たっては、監督職員と十分に協議するものとする。

2. 土取場、建設発生土受入地

(1) 建設発生土受入地

- 1) 本工事の建設発生土受入地は図面に示す箇所とし、その名称、予定量は次のとおりであるが、場所等を変更することがある。

名 称	地 先 名	搬入予定量	適 用
建設発生土受入地	八代市妙見町 2623 地内	750 m ³	

- 2) 建設発生土受入地への処分方法は、適切な機械により整地する。

3. 仮廻し水路工

- (1) 仮廻し水路は、既設排水路内に別添図面に示す鋼製水路（RF フリューム）を設置及び鋼矢板打設を行うことにより仮廻しを行う計画としているが、施工に先立ち現況の既設水路構造及び周辺状況等を把握した上で仮設計画を検討するものとする。
なお、本件に係る数量等は契約変更の対象とする。
- (2) 仮廻し対象流量は、3.764m³/s とする。
- (3) 仮廻し水路の設置に当たっては、漏水が生じないように施工しなければならない。止水パテ等の施工が必要な場合は、監督職員と協議するものとする。
- (4) 矢板の打設は、バイブロハンマによる打設を計画しているが、それにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。
- (5) 鋼矢板の吊込に際しては、既設構造物に損傷を与えないよう施工しなければならない。

4. 仮設構造物の維持管理

- 本工事で使用する仮設鋼矢板については、受注者の責任において、維持管理しなければならない。
なお、供用中に補修が必要と判断される場合は、補修計画書を作成後、監督職員と協議するものとする。

5. 排水処理工

- 施工始終点において、施工対象外の区間から流入水を防ぐ目的で大型土のうを設置する計画であるが、大雨時には排水の通水阻害となるため撤去しなければならない。撤去に当たっては、事前に監督職員と協議するものとする。

また、施工始終点及び中間点において水替工を計画しており、以下の排水量での施工が困難な場合は、監督職員と協議するものとする。

各点における流入： $Q_{max}=30m^3/hr$

第6章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

発注者が確保している工事用地及び工事に必要な用地（以下、「工事用地等」という。）は別添参考図面に示すとおりである。

2. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 発注者が確保する工事用地等の使用に当たっては、工事施工に先立ち、関係地権者及び監督職員と立会いの上、使用条件等の確認を行わなければならない。
- (2) 工事用地の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な措置を講じた後、受注者、関係地権者及び監督職員の立会いのもとに確認を受けなければならない。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 設計変更等の業務

受注者は、仮設工に係る設計及びその他設計変更の必要が生じ、契約変更に必要な設計図書の作成を監督職員から指示された場合は、それに応ずるものとする。

なお、その経費については、別途協議のうえ、契約変更の対象とする。

第9章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

(1) 碎石類

再生クッシャーラン RC-40 (JIS A 5021)

(2) コンクリート

コンクリートはレディミストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	水セメント比 W/C(%)	セメントの種 類による記号	使用目的
無筋コンクリート	18	8	25(20)	65以下	BB	基礎コンクリート

(3) 鋼材類

鋼矢板 III型 L=8.5m

RF フリューム 22-E (W2306×H1818)

RF フリューム 22-F (W2306×H2090)

(4) その他

塩化ビニル管 VU200

フィルター材 t=10mm

2. 見本又は資料提出

主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
砕石類	試験成績書
コンクリート	配合報告書、試験成績書
鋼材類	試験成績書、カタログ、ミルシート
その他	カタログ

3. 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材 料 名	検査・試験項目	備 考
生コンクリート	スランプ値・空気量	資材搬入時
鋼材類	外観・寸法	資材搬入時

4. 資材の調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に調達地域等の在庫がないことが証明できる書類を提出し監督職員と協議するものとする。また、輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規 格	調達地域等
普通鋼矢板	Ⅲ型	熊本県宇城市

第10章 施工

1. 一般事項

(1) 基準点

本工事の基準点及び水準点は、図面「計画平面図」に示すものを使用しなければならない。基準点及び境界杭等は、施工中に損傷しないよう留意するとともに、移動の必要が生じた場合は監督職員に報告し指示を受けなければならない。

なお、補助BMを設けた場合は、位置及び標高を監督職員に報告するものとする。また、基準点等の位置データは、測地成果2000に対応したものである。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工 種	確認内容	確認時期	遠隔確認対象	備考
砕石基礎	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で1箇所		
コンクリート基礎	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で1箇所		
指定仮設：鋼矢板打工	高さ、長さ、中心線からのズレ	設置完了時点で各工種代表1箇所		

2. 再生資源の利用

受注者は、次に示す再生資材を利用しなければならない。

資材名	規格	備考
再生クラッシャーラン	RC-40	砕石基礎

なお、舗装材に使用する場合には「舗装再生便覧」（（公社）日本道路協会発行）等を遵守する。

3. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 ■無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

■が該当する部分である。

4. 土工

(1) 床掘工

- 1) 発生土は、すべて建設発生土受け入れ地へ搬出しなければならない。
- 2) 床掘で過掘りとなった部分は、良質土で埋め戻さなければならない。
- 3) 床掘作業中に、ブロック積法面において変状、その他異常が確認された場合、すみやかに作業を中断し、対応について監督職員と協議するものとする。

(2) 底板コンクリート設置工

1) 砕石基礎

再生クラッシャーラン（RC-40）を敷均し、施工条件に合った機種で締固めをしなければならない。

第11章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者又は監理技術者の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 施工管理

(1) 施工管理の追加項目

施工管理基準に定めのない追加項目とその管理基準等は、次によらなければならない。

1) 出来形管理

直接測定による出来形管理は以下のとおりとする。

ただし、工法により下表により難しい場合は、事前に監督職員と協議するものとする。

工 種	項 目	管理基準値及び規格値	測定基準
砕石基礎	幅	基準値：-130mm 規格値：-200mm	施工延長おおむね 50m につき 1 箇所割合で測定する。
	厚さ	基準値：-30mm 規格値：-50mm	
	施工延長	基準値：- 規格値：-0.2%	
コンクリート基礎	基準高	基準値：±30mm 規格値：±45mm	施工延長おおむね 20m につき 1 箇所割合で測定する。
	幅	基準値：±20mm 規格値：±30mm	
	厚さ	基準値：+15mm、-13mm 規格値：-20mm	
	施工延長	基準値：- 規格値：-0.1%	
鋼矢板打工	基準高	基準値：±30mm 規格値：±45mm	施工延長おおむね 10m につき 1 箇所割合で測定する。
	中心線のズレ	基準値：±65mm 規格値：±100mm	
	施工延長	基準値：- 規格値：-0.1%	

撮影記録による出来形管理は以下のとおりとする。

工 種	撮影基準	撮影箇所
砕石基礎	施工延長おおむね 50～100m につき、1 箇所割合で撮影 する。	幅、厚さ、転圧、粒径、その他必要箇所 を撮影する。
コンクリート基礎	施工延長おおむね 40～80m につ き 1 箇所割合で撮影する。	床掘、基礎、幅、厚さ、その他必要箇所 を撮影する。
鋼矢板打工	施工延長おおむね 10m につ き 1 箇所割合で撮影する。	偏心量、その他必要箇所を撮影する。

3. 工事写真における黑板情報の電子化について

黑板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黑板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黑板情報の電子化を行うことができる。黑板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黑板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第 2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- 1) 黑板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黑板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黑板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
 - 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。なお、上記1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案)6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
 - 3) 黒板情報の電子化を行う場合は、従来型の黒板を併用することはできない。
ただし、高温多湿、粉じん等の現場条件により機器の使用が困難な場合は、この限りではない。
 - 4) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。
- (4) 写真の納品
- 受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。
- なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。
- (5) 費用
- 機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。
4. 工事現場における遠隔確認について
- (1) 本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者が動画撮影用カメラにより撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認(以下「遠隔確認」という)を行う工事である。
 - (2) 遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する実施要領」によるものとする。
 - (3) 農林水産省が推奨するWeb会議システムは、Microsoft Teams である。
 - (4) 通信環境が整わない現場や遠隔確認が非効率となる場合も想定されることから、受発注者の協議により遠隔確認の適用・不適用を決定するものとする。

第12章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- (1) 排水量
- (2) 湧水等の出現
- (3) 関係機関との協議
- (4) 工事数量表の備考欄に「概」と表現した数量について変更が生じた場合
- (5) 現地精査の結果、仮設工(底板コンクリート設置工、仮廻し水路工)に係る設計の設計諸元に相違が生じた場合
- (6) 現場条件(地盤条件、道路幅等)の制約により、設計に基づく施工が困難な場合
- (7) その他

第13章 その他

1. 契約後VE提案

(1) 定義

「VE提案」とは、工事請負契約書第19条の2の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) VE提案の意義及び範囲

- 1) VE提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。
 - ① 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ② 工事請負契約書第18条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ③ 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) VE提案書の提出

- 1) 受注者は、(2)のVE提案を行う場合、次に掲げる事項をVE提案書（共通仕様書 様式6-1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ① 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - ② VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③ VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤ 工業所有権を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項
 - ⑥ その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、VE提案を契約締結の日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する日の35日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) VE提案の適否等

- 1) 発注者は、VE提案の採否について、原則として、VE提案を受領した日の翌日から14日以内に書面（共通仕様書 様式6-5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
- 2) また、VE提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) VE提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第19条の2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する額（以下、「VE管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第24条（請負代金額の変更方法等）第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記6)のVE管理費については、変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) VE提案書の使用

発注者は、VE提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注

者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R又はBD-R）正副2部

3. 配置予定監理技術者等の専任期間

- (1) 請負契約の締結後から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。
- (2) 契約締結日から現場着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限り、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
- (3) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で明確にした場合に限り、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

4. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前中に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後には協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

5. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

- (1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）
工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。
なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。
- (2) 工事円滑化会議（工程確認会議）
工事着手時及び新工種発生時等において、現場代理人、受注会社幹部並びに事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。
- (3) 設計変更確認会議
工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事業所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について、高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については、現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。
- (4) 対策検討会議
工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに各地方農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事業所長、

次長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。

なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記(1)、(2)、(3)及び(4)の会議に必要なに応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数にかかわらず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式-42）に記録し、相互に確認するものとする。

6. 週休2日による施工

(1) 本工事は、週休2日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。

受注者は、契約後、週休2日による施工を行わなければならない。なお、受注者の責によらない現場条件・気象条件等により週休2日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

(2) 「週休2日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4週8休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

①対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。

なお、対象期間において、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

②現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。

ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。

③ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

(3) 週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

① 受注者は、契約後、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。

② 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。

③ 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。

④ 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。

⑤ 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

(4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

(5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

①補正係数

	4週8休以上 〔現場閉所率 28.5%（8日/28日）以上〕
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費（率分）	1.02
現場管理費（率分）	1.05

②補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。なお、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記①に示す補正係数による補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

7. 週休2日制の促進

(1) 本工事は、週休2日制を促進するため、現場閉所状況に応じて工事成績要領に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。

(2) 発注者は、現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定の合計は100点を超えないものとする。また、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、工事成績評定の点数を10点減ずることとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。

① 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙5に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大2点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて1点、2点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- 月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

② 現場閉所による月単位の週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、月単位の週休2日に満たない（休日率4週6休以上）場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- 休日の確保を行った。
- その他 [理由：現場閉所により月単位の週休2日（4週8休以上）の確保を行った。]

○事業（務）所長用

- 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
- その他 [理由：現場閉所により月単位の週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。]

③ 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で1点を加点評価する。

○事業（務）所長用

- その他 [理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。]

(3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

8. 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上を選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については監督職員と協議実施する。

なお、内容に変更が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

- (2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。
- (3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況がわかる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労務宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明用ビデオ ⑨社会貢献

9. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア)～サ)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。ただし、シ)～チ)については、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア) 洋式（洋風）便座
- イ) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ) 臭い逆流防止機能
- エ) 容易に開かない施錠機能
- オ) 照明設備
- カ) 衣装掛け等のフック又は荷物置き棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ) サニタリーボックス
- コ) 鏡と手洗器
- サ) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ) 便房内寸法 900×900 以上（面積ではない）
- ス) 擬音装置（機能を含む）
- セ) 着替え台
- ソ) 臭気対策機能の多様化
- タ) 室内温度の調整が可能な設備
- チ) 小物置き場（トイレトーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（1）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】ア)～カ) 及び【付属品として備えるもの】キ)～チ) の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基/工事までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基/工事より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

(3) 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

1 0. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

(1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。

(2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

1) 真夏日

日最高気温が 30℃以上の日をいう。

2) 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

3) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$$

(3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。

(4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが 25℃以上となる日を真夏日と見なす。

ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法（昭和 27 年法律第 165 号）に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。

(5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。

(6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値}(\%) = \text{真夏日率} \times \text{補正係数} ※$$

※ 補正係数：1.2

1 1. 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について

(1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績

を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

- ・営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
 - ・労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
 - (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者が別に示す実績変更対象経費に係る費用の内訳を記載した実績変更対象経費に関する実施計画書（以下「様式2」という。）を作成し、監督職員に提出するものとする。
 - (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書（以下「様式3」という。）を作成するとともに、様式3に記載した計上額が証明できる書類（領収書又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
 - (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
 - (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額」から、「様式2に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
 - (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
 - (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

1 2. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）

- (1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）の対象工事である。
- (2) 受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

1 3. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して精算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

1 4. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

運搬費：建設機械の運搬費

準備費：伐開・除根・除草費

- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提

示する。

- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）（様式4）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、計算変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」から「算定基準に基づき算出した額」を差し引いて算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

1 5. 建設副産物の取扱に係る補足

共通仕様書 1-1-2 2 建設副産物の記載について、以下のとおり補足する。

(1) 受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

(2) 再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土砂の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見えやすい場所に掲げなければならない。

(3) 建設発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と(2)再生資源利用促進計画を作成する上での確認事項等で行った確認結果を委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

(4) 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

第14章 定めなき事項

1. 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

令和6年度

直轄災害復旧事業

不知火幹線水路復旧仮設工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 底板コンクリート工				「概」と表示しているものは概数数量発注による数量
(1)土工				
現場内小運搬		m3	750	「概」
土砂運搬・処分費	現場～残土処分場	m3	750	「概」
掘削補助機械搬入・搬出		回	11	「概」
(2)底板コンクリート設置工				
砕石基礎	RC-40	m ²	2,449	「概」
コンクリート基礎	18N-8-25 (高炉B)	m3	250	「概」
目地板		m ²	23.6	「概」
型枠		式	1	
(3)水抜孔設置工				
水抜孔設置工	φ200	箇所	100	「概」
2. 仮設工				
(1)仮廻し水路工				
仮廻し水路工	RFフリューム 22-E	m	56.0	「概」
仮廻し水路工	鋼矢板打設	枚	50	「概」
大型土のう撤去・設置		袋	8	「概」
(2)排水処理工				
仮締切湧水処理工		箇所	3	「概」
官貸額 (直工)				
1. 官貸額				
(1)官貸額				
官貸額		式	1	
2. その他				
(1)運搬費				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
共通仮設（積上げ）				
運搬費				
運搬費（鋼矢板）		式	1	
運搬費（RFフリューム）		式	1	
（2）安全費				
共通仮設（積上げ）				
安全費				
交通誘導警備員		人	22	「概」

令和6年度直轄災害復旧事業
不知火幹線水路復旧仮設工事

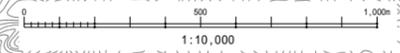
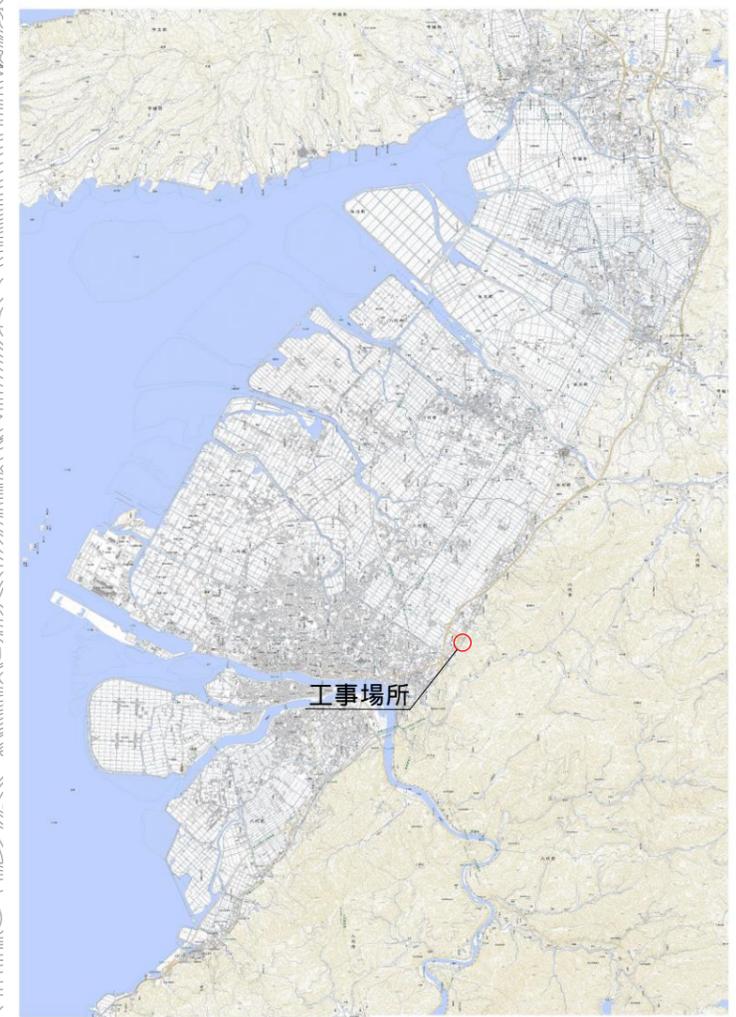
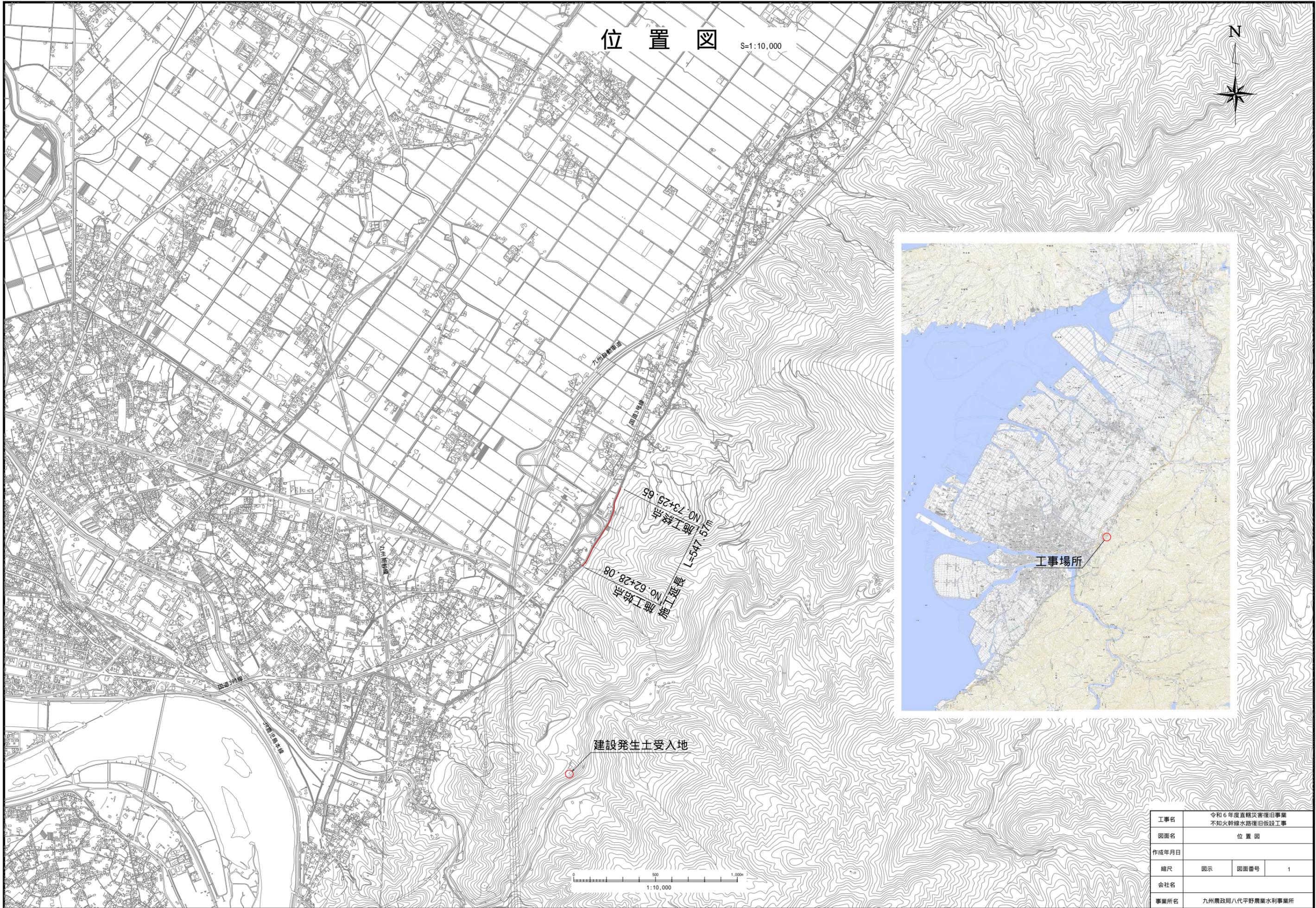
縮小図面
(契約図面)

九州農政局 八代平野農業水利事業所

令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事			
図 面 目 録			
図面番号	名 称	枚 数	備 考
1	位 置 図	1	
2	計 画 平 面 図	2	
3	標 準 断 面 図	1	
4	仮 設 計 画 図	1	
計		5	

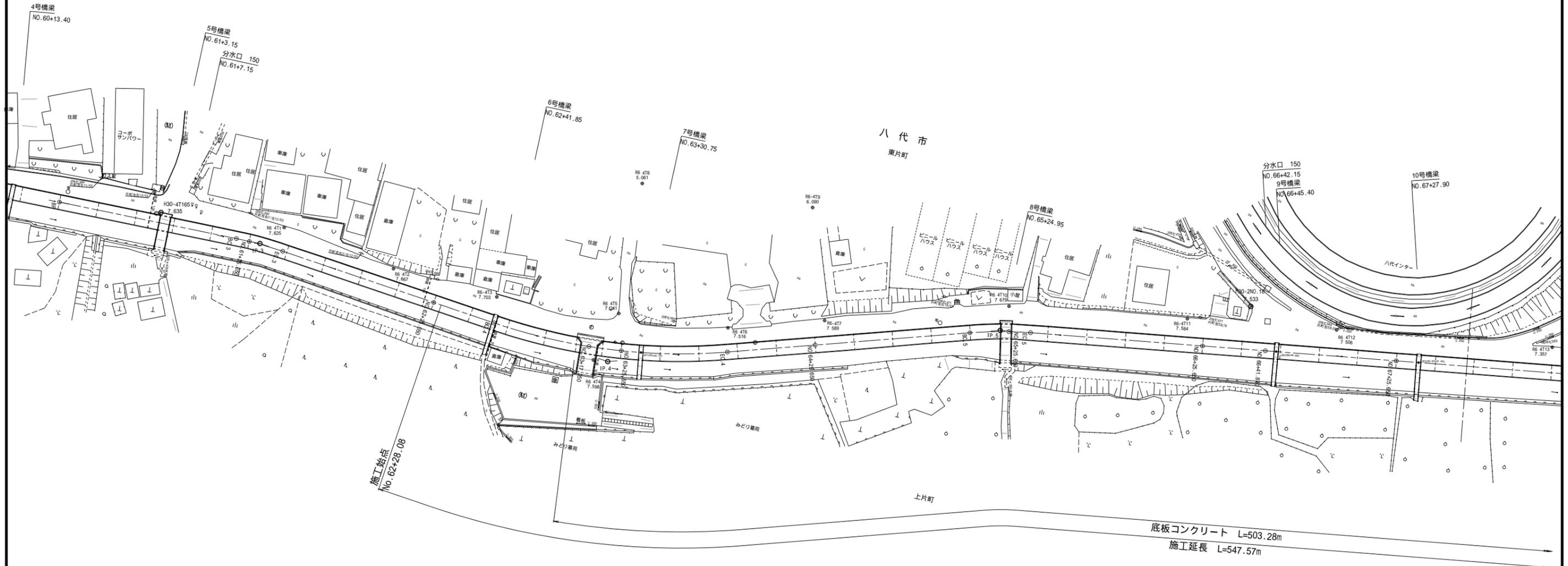
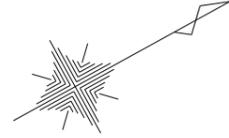
位置図

S=1:10,000



工事名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事業所名	九州農政局八代平野農業水利事業所		

計画平面図(1/2)

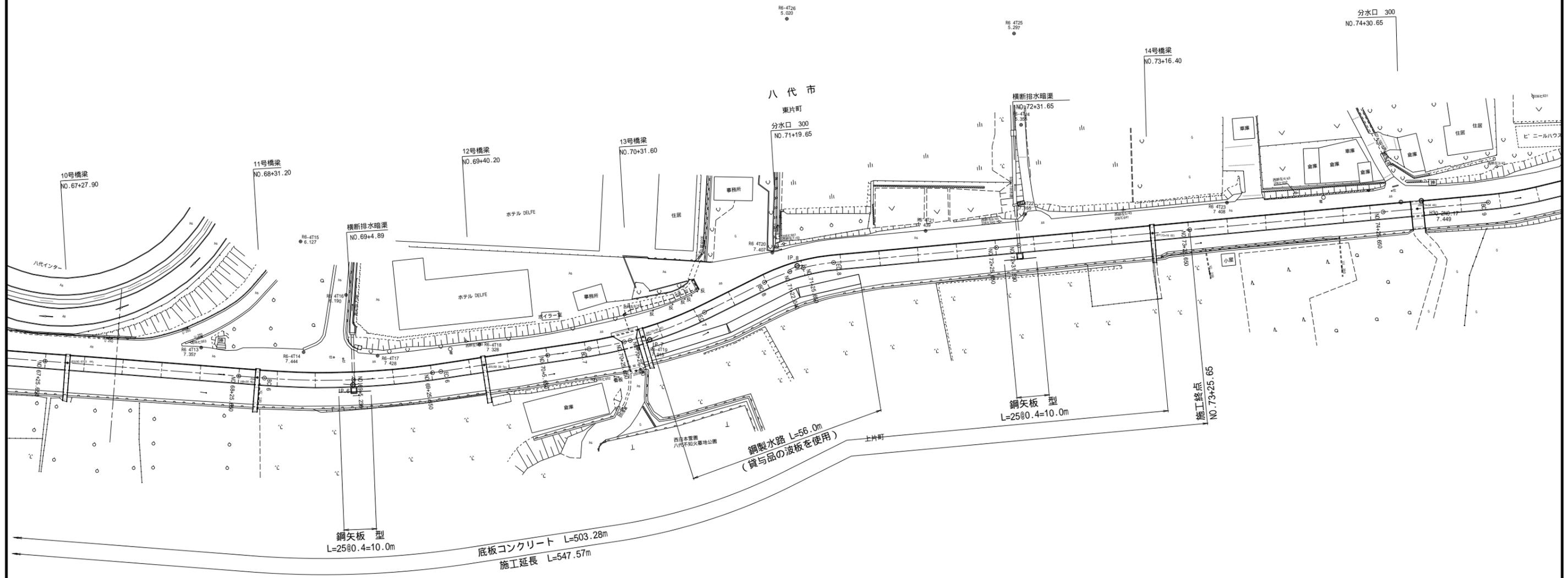
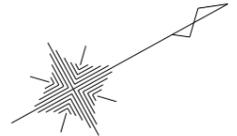


既知点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	標高
H30-2N0.18	-54333.832	-32707.931	7.533
R6-4T1	-54542.055	-32845.694	7.625
R6-4T2	-54522.524	-32822.832	7.667
R6-4T3	-54502.726	-32803.649	7.703
R6-4T4	-54488.775	-32777.427	7.598
R6-4T5	-54477.252	-32784.779	7.241
R6-4T6	-54454.435	-32767.988	7.516
R6-4T7	54431.717	32757.648	7.589
R6-4T8	-54455.844	-32811.187	5.061
R6-4T9	-54420.412	-32784.614	6.090
R6-4T10	-54388.353	-32737.989	7.679
R6-4T11	54349.678	32713.041	7.584
R6-4T12	-54317.408	-32691.978	7.506
R6-4T13	-54270.940	-32661.305	7.357

工事名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事		
図面名	計画平面図(1/2)		
作成年月日			
縮尺	1/500	図面番号	2 - 1/2
会社名			
事業所名	九州農政局八代平野農業水利事業所		

計画平面図(2/2)



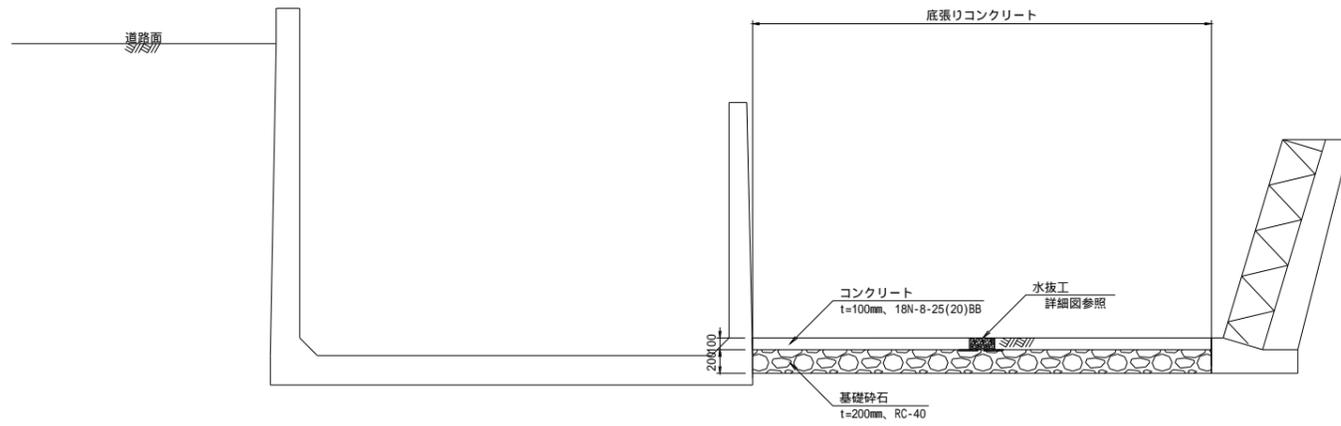
既知点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	標高
H30-2N0.17	-53977.542	-32542.984	7.449
R6-4T13	-54270.940	-32661.305	7.357
R6-4T14	-54248.407	-32647.570	7.444
R6-4T15	-54235.371	-32672.891	6.127
R6-4T16	-54231.730	-32655.189	6.190
R6-4T17	-54232.154	-32637.587	7.428
R6-4T18	-54207.799	-32627.439	7.328
R6-4T19	-54172.564	-32606.815	7.915
R6 4T20	54130.339	32611.838	7.407
R6-4T21	-54093.076	-32597.723	7.439
R6-4T22	-54068.576	-32589.157	7.155
R6-4T23	-54021.606	-32566.692	7.408
R6 4T24	54058.399	32609.772	5.355
R6-4T25	-54048.661	-32631.230	5.297
R6-4T26	-54098.076	-32662.730	5.020

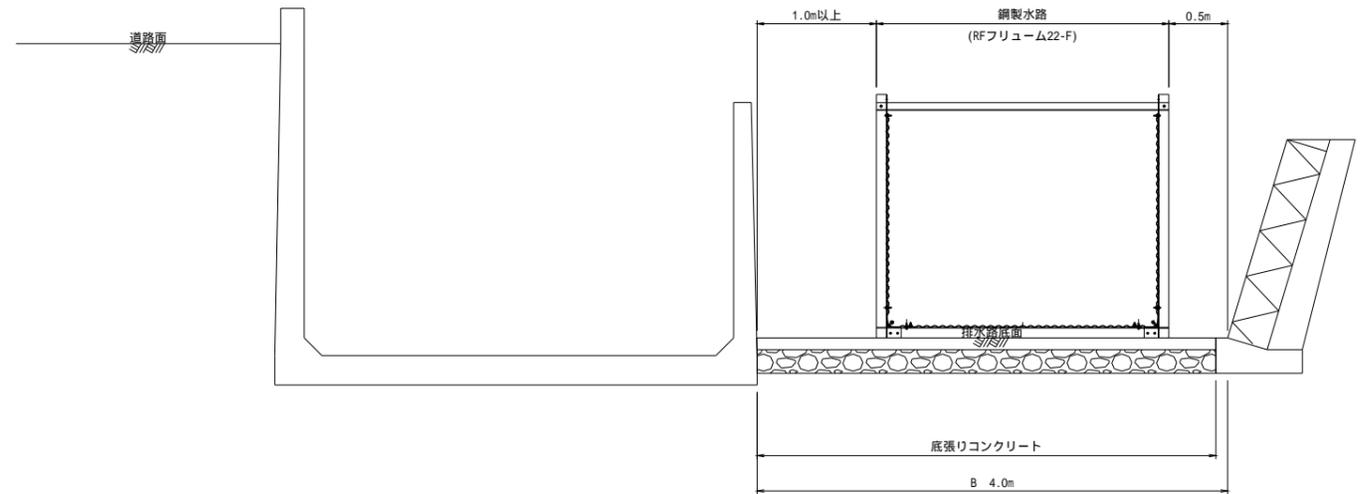
工事名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事		
図面名	計画平面図(2/2)		
作成年月日			
縮尺	1/500	図面番号	2 - 2/2
会社名			
事業所名	九州農政局八代平野農業水利事業所		

標準断面図

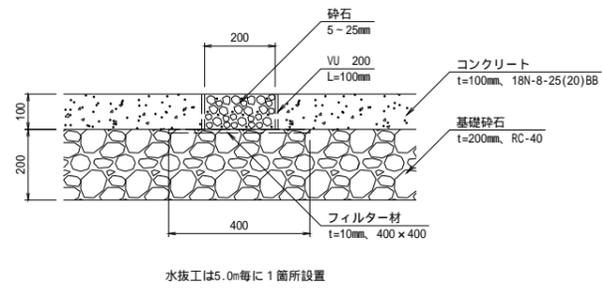
底張りコンクリート S=1:30



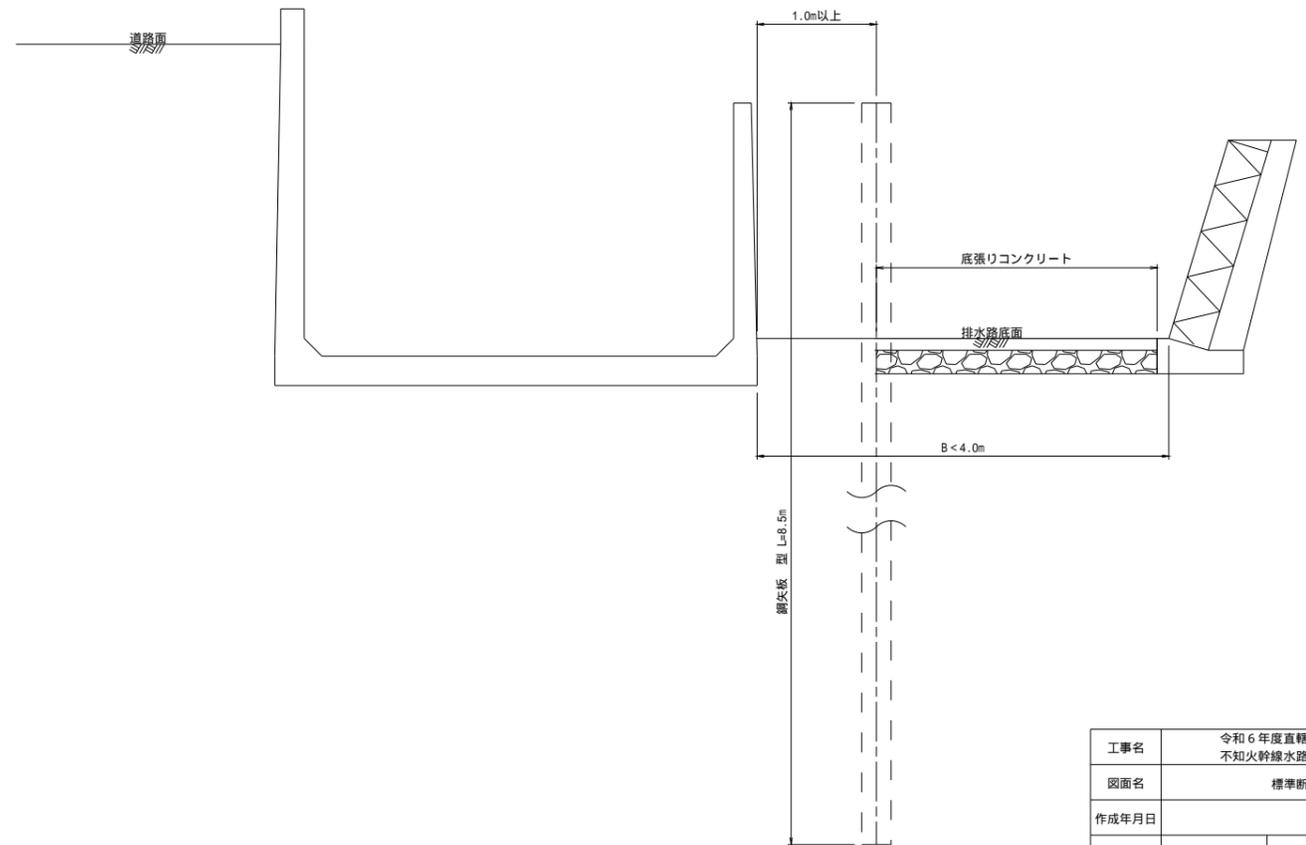
鋼製水路区間 S=1:30



水抜き工詳細図 S=1:10



鋼矢板区間 S=1:30

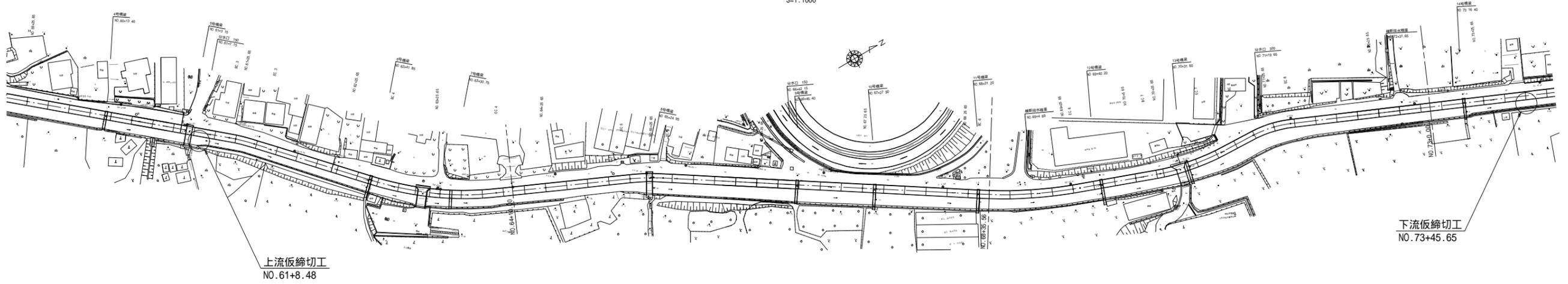


工事名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事		
図面名	標準断面図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	3
会社名			
事業所名	九州農政局八代平野農業水利事業所		

仮設計画図

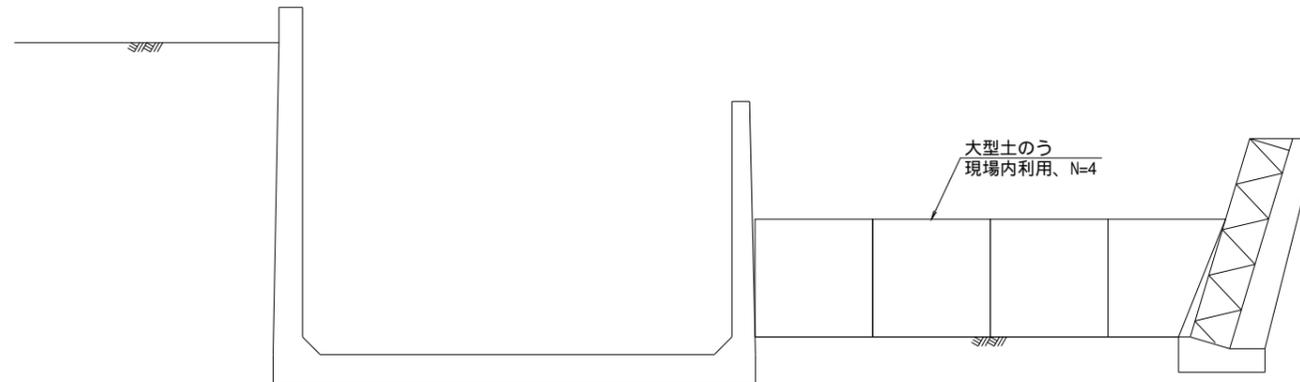
平面図

S=1:1000



仮締切工標準断面図

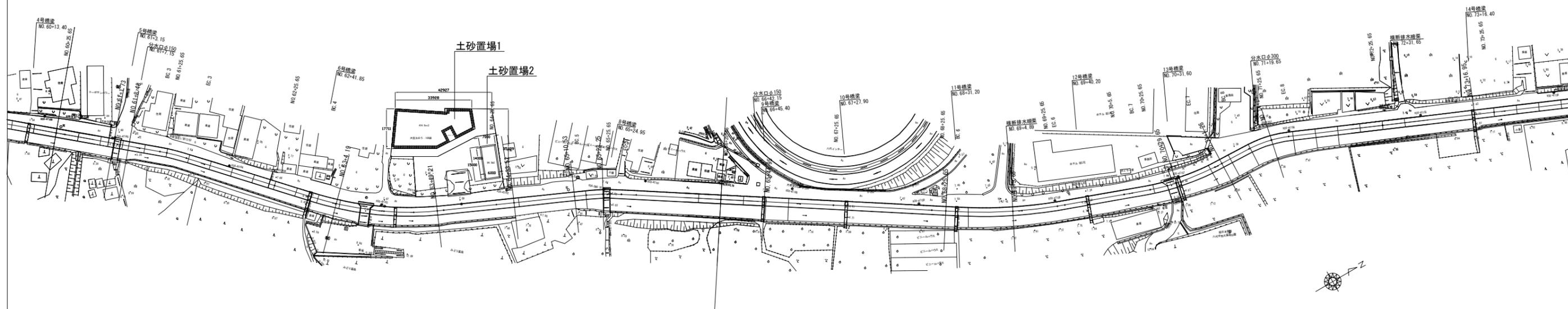
S=1:30



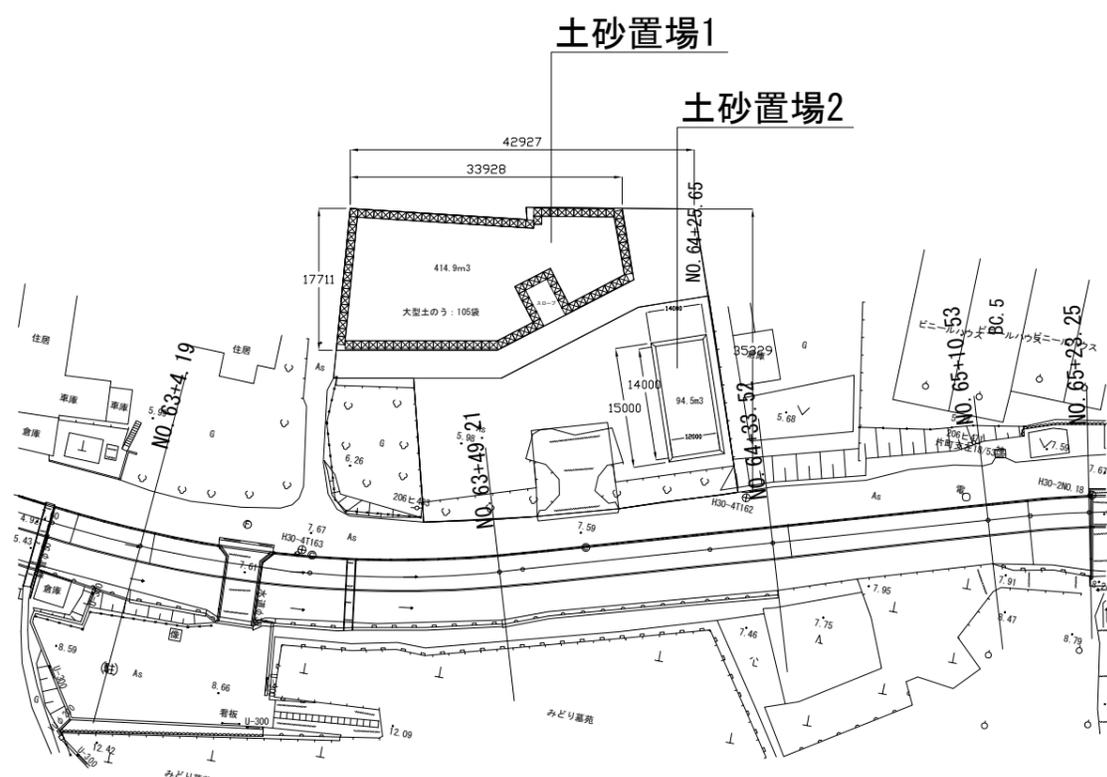
工事名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事		
図面名	仮設計画図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4
会社名			
事業所名	九州農政局八代平野農業水利事業所		

仮設ヤード図

平面図 S=1:600

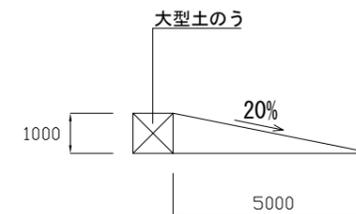


資材配置図
平面図 S=1:300



土砂最大仮置き量1+2=509.4m³>495.1m³

スロープ断面図
平面図 S=1:30



工事名	令和6年度直轄災害復旧事業 不知火幹線水路復旧仮設工事
図面名	仮設ヤード図
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号 参考1
会社名	
事業者名	九州農政局八代平野農業水利事業所